

中学歴史 鎌倉時代

レベル1 (要点チェック)

1、鎌倉幕府のはじまり

平氏の滅亡後、(1)が開いた武士の政権を(2)という。1は1192年に征夷大将軍(武士政権のリーダーは代々将軍とよばれた)に任命され、1の死後は、**北条氏**が幕府の実権をにぎり、代々(3)という地位に就いて政治をした。

幕府は日本各地に守護・地頭を置いた。(4)は国ごとの軍事・警察を行い、(5)は荘園など土地を管理し、年貢の取り立てをした。

将軍と家来の武士(御家人)は、土地を仲立ちとした主従関係を結んだ。将軍が御家人の領地や地頭の地位を保護することを(6)といい、御家人たちは将軍のために戦うことを(7)という。

この時代、公家(貴族)の国司や荘園領主もいたから、武士(地頭)と年貢のとり方でトラブルになることがよくあった。

後鳥羽上皇は源氏の将軍が途絶えたため、幕府を倒そうと(8)を起こしたが、1の妻の北条政子が御家人たちをまとめて、幕府側が勝利し、上皇側の荘園をたくさん取り上げて支配を広げた。

さらに京都の朝廷を監視するために(9)を置いた。

その後、3代執権北条泰時が、武士独自の法である(10)を定めた。

承久の乱、鎌倉幕府、地頭、御成敗式目、執権、守護、奉公、六波羅探題、源頼朝、御恩

確認問題

- 問1 鎌倉に幕府を開いて武家政治を始めたのは、だれか。
- 問2 1の死後、幕府の政治の実権を握ったのは何氏か。
また、代々将軍を補佐した地位を何というか。
- 問3 将軍は御家人の領地を保護し、功績があれば新しい領地を与えた。これを何というか。
- 問4 御家人が将軍のために戦うことを何というか。
- 問5 鎌倉時代、国ごとに軍事と警察を担った御家人を何というか。
- 問6 荘園や公領で、年貢の取り立てを行った御家人を何というか。
- 問7 幕府を倒そうと兵を挙げた上皇はだれか。
- 問8 7の戦いを何というか。
- 問9 8に勝利した幕府は、朝廷を監視するため京都に何を置いたか。
- 問10 北条泰時が制定した武家社会の最初の法律は何か。

2. 鎌倉時代の文化

特徴・武士の好みにあった力強い文化

- ・民衆にわかりやすい仏教

- ・建築や彫刻

建築：(1)	彫刻：(2)：運慶らの作品
---------	----------------

- ・文学

軍記物	(3)	源氏と平氏の戦いを描いた物語
和歌集	(4)	藤原定家（公家）が編集した和歌集
随筆	(5)	鴨長明が著した随筆

- ・新しい仏教

宗派	開いた人	内容
6	法然 <small>ほうねん</small>	念仏をとなえて、極楽に生まれ変わる
7	親鸞 <small>しんらん</small>	阿弥陀如来の救いを信じれば、極楽に生まれ変わる
8	一遍 <small>いっぺん</small>	念仏を踊ってとなえる→盆踊りのはじまり
9	日蓮 <small>にちれん</small>	題目（お経のタイトル）をとなえたら、救われる
10	栄西 <small>えいせい</small>	中国から伝えた「座禅」によって、自力で悟りに近づく 鎌倉幕府など武士たちに広まった
11	道元 <small>どうげん</small>	まとめて「禅宗」という

ほうじょうき、そうとうしゅう、じしゅう、しんこきんわかしゅう、こんごうりきしどう、へいけものがたり、じょうどしゅう、じょうどしんしゅう、りんざいしゅう、
とうだいじなんだいまん、

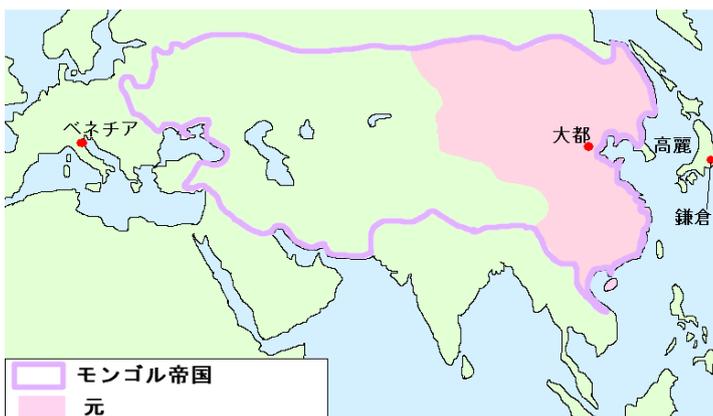
* 仏教を開いた人の名前が出ることもある

確認問題 (鎌倉文化)

- 問1 鎌倉時代の文化は、「だれ」の好みに合った「どんな」文化か。説明しなさい。
- 問2 鎌倉時代に宋の建築様式を取り入れて再建された東大寺の建物は何か。
- 問3 2の建物に収められた、運慶らがつくった彫刻は何か。
- 問4 源氏と平氏の戦いを描き、琵琶法師によって広められた物語は何か。
- 問5 公家の藤原定家らが編集した和歌集は何か。
- 問6 中国から栄西や道元が伝え、幕府に保護された仏教を何というか。
- 問7 念仏によって極楽に生まれ変わると法然がひらいた仏教を何というか。
- 問8 法然の弟子、親鸞が阿弥陀如来の救いを信じることを説いた仏教を何というか。
- 問9 題目を唱えれば、人も国も救われると説いたのはだれか。

3. 蒙古襲来

13世紀初め(1)は**モンゴル帝国**を築き、東ヨーロッパからアジアまでに広がった。5代皇帝(2)は国号を元に改め、中国全土を支配した。貿易が活発になったから、ベネチアの商人マルコポーロが2に従って、モンゴル帝国内を探検し、日本のこともヨーロッパに紹介した。



2は朝鮮半島の高麗を服従させ、日本にも使者を送ったが、8代執権(3)はこれを拒否した。2は二度にわたって九州北部に大軍を送った。この二度にわたる元軍の襲来を(4)という。

御家人たちは一度目の襲来のあと、(5)をつくるなど自力で戦費を負担したが、幕府からの恩賞(ほうび)がほとんど

なく、借金で生活が苦しくなった。

幕府は御家人を救うため、(6)を出して御家人の借金を帳消ししたが、効果が一時的だったため、幕府は御家人の信用を失った。(西日本で幕府に従わない武士が現れ始めた)

フビライ・ハン、徳政令、とくせいれい元寇、げんこう防塁、ぼうるいチンギス・ハン、ほうじょうときむね北条時宗、

確認問題（蒙古襲来）

- 問1 13世紀初め、チンギス・ハンが築いた国を何というか。
問2 1の西はどこまでに広がったか。
問3 チンギス・ハンの孫で、中国全土を支配したのはだれか。
問4 13世紀後半、元軍が二度にわたって九州北部を襲来した出来事を何というか。
問5 4のとき鎌倉幕府の執権はだれか。
問6 御家人たちは元軍のどのような戦法に苦しんだか。
問7 4のあと生活が苦しくなった御家人を救うため、幕府が出した法令を何というか。

レベル2（要点チェック）

1、鎌倉幕府の成立

1185年(1)は朝廷から国ごとに(2)、荘園・公領ごとに(3)を置くことを認められる。

1192年1は朝廷から**征夷大將軍**に任命される（歴代、武家政権の指導者はこの称号を使う）

封建制度：土地を仲立ちした主従関係

(4)：将軍が幕府に従う武士である(5)の領地を保護し、新たな領地を与えること。

(6)：5が幕府に従い、軍事や警備などの仕事をする事

1の死後、三代で源氏の将軍が滅亡し、北条氏が将軍を補佐する(7)を独占した。

1221年(8)：後鳥羽上皇が幕府を滅ぼそうと起こしたが、幕府に敗北。

→幕府の支配が全国におよび、京都に(9)を設置して朝廷を監視した。

三代目の7、北条泰時のとき、武士による最初の法律の(10)を定める。

2、武士の生活

- ・館（たて）というやしきを交通の要衝にかまえ、領地の防備や年貢の取り立てをする
- ・弓馬の道：武芸の訓練にはげみ、名誉を重んじる
- ・家族制度：一族のリーダーを惣領（そうりょう）といい、死後の領地は分割相続をした
- ・公家（荘園領主・国司）と年貢の取り分で争った。→下地中分（武士と公家で領地を分け合う）

3、民衆の生活

農業の発達：牛馬、灰を肥料に利用する。西日本で(11)が始まる。

銅銭（宋から輸入）を利用し、(12)が開かれる

地頭、御恩、六波羅探題、定期市、御家人、守護、御成敗式目、執権、二毛作、源頼朝、奉公、承久の乱、
--

4, 鎌倉文化

特徴：武士を中心とした質素で力強い

・文学

軍記物語：(1)、和歌集：(2)、随筆：「方丈記」、(3)

・建築と彫刻

(4)：宋の様式を取り入れて再建。4 に運慶らが作った彫刻(5)がある

・新しい仏教

民衆にわかりやすい教え

(6)：法然が念仏による救いを説く

(7)：法然の弟子、親鸞（しんらん）が阿弥陀如来の救済を信じるよう説く

(8)：一遍が踊念仏を広め、のちの盆踊りにつながる

(9)：題目を唱えることによる救済を説く

(10)：栄西の臨済宗は幕府に支持され、道元の曹洞宗は地方の武士や民衆に広がる

5, モンゴルの襲来

13 世紀初め、(11)がモンゴル民族を統一し、ユーラシア大陸に大帝国を築く

5 代皇帝(12)が国号を元に改め、高麗を従え、南宋を滅ぼし、日本へ攻めた。

8 代執権(13)は、元への服従を拒否

(14)：13 世紀後半に元軍（高麗や中国人が主）が二度、九州北部に襲来

1274 年文永の役、1281 年弘安の訳

日本の武士が一騎打ちに慣れていたため、元軍の火薬や集団戦法に苦しむ

14 の後、御家人が窮乏した原因

1, 14 の多大な出費に、幕府からの恩賞が不十分

2, 武士の代替わりごとに、分割相続をくりかえし、領地が小さくなった

(15)：幕府が御家人たちを救済するために、借金の帳消しをした法令

→効果は一時的で、御家人たちの幕府への不満が高まる

北条時宗、時宗、チンギス・ハン、浄土真宗、金剛力士像、新古今和歌集、日蓮宗、禅宗、徳政令、平家物語、東大寺南大門、元寇、浄土宗、フビライ・ハン、徒然草、
--

東大寺は源氏と平氏の争いのときに、火災にあった。

レベル 3 (基本問題)

年表問題

時代	世紀	できごと	中国
平安時代	12	1167 年(1)が武士で初めて太政大臣になる 1180 年伊豆で(2), 木曾で源義仲が拳兵 1185 年壇ノ浦の戦いで平氏が滅ぶ 1192 年 2 が征夷大將軍に任命される	(8
(7	13	1203 年北条氏が(3)に就き、代々將軍を補佐する 1206 年チンギス・ハンがモンゴル民族を統一する 1221 年後鳥羽上皇が(4)を起こす 1232 年北条泰時が(5)を定める)
		1271 年フビライ・ハンが国号を(6)に改める 1274 年 6 軍が博多湾に上陸 (文永の役) 1281 年 6 軍が再び日本を攻める (弘安の役)	(6
)時代	14	1331 年鎌倉幕府が滅ぶ)

確認問題

- 問 1 壇ノ浦の戦いで平氏を滅ぼしたのはだれか。
- 問 2 国ごとの軍事・警察の仕事にあたった武士の役職を何と
いうか。
- 問 3 荘園・公領ごとに年貢の取り立てなどを行った武士の役職
を何と
いうか。
- 問 4 源頼朝の死後、鎌倉幕府の実権を握り、執権の地位に就い
たのは何氏か。
- 問 5 鎌倉時代に再建され、運慶らの金剛力士像が置かれている
建物を何と
いうか。
- 問 7 平安時代末のききんや戦乱など厳しい世のありさまなどを
描いた随筆「方丈記」の作者はだれか。
- 問 8 宋から伝わり、座禅によって自分から悟りを開くことを説い
た仏教の宗派を何と
いうか。
- 問 9 元からの使者を退けた鎌倉幕府の執権はだれか。
- 問 10 元軍による文永の役と弘安の役の二度の襲来をあわせて何と
いうか。
- 問 11 10 の後、生活が苦しくなった御家人を救うため幕府が出した
法令を何と
いうか。